

## 令和6年度 第2回 相生市総合教育会議会議録

日 時	令和6年12月17日（火）13時30分から14時30分
会 場	市役所3階 議員控室
出席委員	谷口 芳紀 市長 坂本 浩宣 教育長 小西 毅 教育委員 頭島 恵美 教育委員 米澤 聖子 教育委員
出席職員	三宅 淳一 企画総務部長 大西 博之 教育次長（管理担当） 木本 博子 教育次長（指導担当） 桑名 雅彦 参事（生涯学習担当） 富田 大三 管理課長 土居 哲也 学校教育課長 平松 孝夫 体育振興課長 高嶋 佳奈 人権教育推進室長 立巳 訓子 管理課副主幹（書記）
傍聴者	なし

### 1 開会

#### 2 市長挨拶

年末の大変お忙中、令和6年度第2回相生市総合教育会議を開催させていただきましたところ、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、各委員には平素より相生市の教育行政にご尽力いただき、誠に感謝いたしております。

相生市では、9月1日付で「相生市職員憲章」を見直し、「相生市職員フィロソフィ」を策定しております。これは、あいさつを第一に明るさ・礼儀正しさ・謙虚さ・公平さなど人生や仕事をする上での倫理観や大切なことを「11の心得」にし、これを基本に相生市職員として住民福祉の向上に向け、全力で職務に取り組んでおります。

教育委員会においても、あいさつを基本とした人づくりを行っていただいております。教育は人と人との繋がりを育てる重要な分野でありますので、引き続きお願いいたします。

この総合教育会議は、今後の相生の教育についての方向性を決定する非常に重要な場でございます。各委員の忌憚ないご意見を頂きながら、今後に向けて整理をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

年の瀬を控え、益々慌ただしくなって参ります。委員の皆様におかれましては、ご自愛いただき、益々ご活躍されますこと祈念申し上げ、開会のあいさつとさせていただきます。

### 3 協議事項

#### (1) 「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムについて

##### 教育次長（指導担当）

「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムについて概要説明

「夢の実現に向けはばたき 粘り強く生き抜く力」を育てるキーワード

<b>D</b>	DREAM	夢、志、向上心
<b>A</b>	愛（きずな、ふれあい）	協調性、道徳性
<b>I</b>	ICT	プログラミング能力 情報活用能力
<b>C</b>	コミュニケーション力・チャレンジ精神 英語力 等 ( <b>C</b> ommunication、 <b>C</b> hallenge)	
<b>H</b>	非認知能力	自己肯定感 忍耐力・回復力 等
<b>A</b>	相生愛	相生ふるさと意識
<b>N</b>	認知能力	知識及び技能、思考力・判断力・表現力

##### 教育次長（管理担当）

ただ今の説明につきまして、ご協議いただきます。最初に、萩原教育長職務代理から事前にご意見を頂戴しておりますので、ご報告させていただきます。

##### 萩原教育長職務代理者 教育次長（管理担当）（代読）

今回提案いただいた、「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムについて、子どもたちの自己表現を応援する、育てるために非常によく考えられたものであると思います。今年も多くのオープンスクール、学校園を訪問させていただく中で、ICTを活用した授業を見させていただきました。今回のアクションプログラムにある「主な教育活動」の中には、「相生型ハイブリッド学習」も挙げられておりますが、不易と流行いつの世も悩まされることではございますが、流行を追い求めつつも、不易を大切にしていきたいと思えます。そのため、教師にとっても子どもたちにとっても「書く」という基礎基本を大事にしていきたいと思えます。

##### 教育長

このアクションプログラムを考えるにあたりまして、必要なこと大事にしたいことを取り出しているつもりです。

まずは「夢を持つこと」が子どもたちの将来にとって必要ですので、「DREAM」から始まっています。

「愛」のところについては、絆、ふれあい、協調性、道徳性といった人権教育、道徳教育を通じ、いじめ防止、再発防止を進めていく必要があるとして盛り込んでおります。

また、これからの子どもたち・保護者が求めるものとして、ICTの活用、英語を使ったコミュニケーション力を挙げました。これからの子どもたちが身に付けていく必要があるとし、ワンピース・イングリッシュ事業もここへ位置づけて進めて参りたいと思っています。

「非認知能力」は、あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、知識・技能、表現力を発揮していくためにベースになる力として大変注目をされており、相生市以外の市町でも力を入れた教育を進めております。相生市においても、必要な力として教職員で共通認識を持って進めていきたいと位置づけています。

「相生愛」につきましては、子どもたちが相生市のことを紹介できる知識をどれくらい持っているのか。関わった体験をどれだけ持っているのか。小学校では社会科などの授業の中で、相生の歴史的な物事について学んだり、地域の産業について学んだりしていきます。相生には「ペーロン」という強い文化がありますので、これを通して「相生にはペーロンがあります」と子どもたちが堂々と言えるような、そんな教育を行っていく必要があると思っています。

## 市長

今なければ、あとの意見交換の中でお願いします。よろしいでしょうか。

## 教育次長（管理担当）

それでは、続きまして、協議事項（2）相生市の教育に関する重点施策についてア「令和7年度の重点施策について」事務局よりご説明いたします。

## 管理課長

「令和7年度の重点施策について」一覧のとおり7点の事業を挙げております。これらの重点施策について、各担当よりご説明申し上げます。

（管理課より機構順に事業概要説明）

管理課	第2次相生市立小中学校適正配置計画の推進
学校教育課	「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムに基づく 幼小中一貫教育の推進 ～魅力ある事業を活かした幼小中の連携強化～ 心の健康観察事業～誰一人取り残されない支援体制の構築～
生涯学習課	相生っ子学び塾（プログラミングチャレンジ）
体育振興課	新たなスポーツ指導者の発掘支援 パラスポーツの推進
人権教育推進室	いじめ防止に向けた教育、SNS利用による人権侵害に対する啓発

## 教育次長（管理担当）

ただ今ご説明させていただきました令和7年度事業につきまして、ご協議をお願いします。また、質疑もあわせてお受けいたします。

## 市長

今なければ、あとの意見交換の中であわせてお願いします。

## 教育次長（管理担当）

それでは、次第4「意見交換」に移ります。

総合教育会議は、市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議でございます。

これからの相生教育について、まず、教育委員の皆様より所感をお聞かせいただきたいと思っております。次に、市長より教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と委員の皆様による自由意見交換を行っていただきたいと考えております。

最初に、萩原教育長職務代理から事前にご意見を頂戴しておりますので、ご報告させていただきます。

## 萩原教育長職務代理者 教育次長（管理担当）（代読）

運動会、オープンスクール、学校園訪問等、現場の様子を見させていただいて、子どもたちは非常に落ち着いて学習や運動に取り組むことができていると思います。また、先生方は子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細やかな対応をされていたように思います。引き続き誰一人取り残さない「相生の教育」の推進に期待しております。

## 教育次長（管理担当）

それでは、小西委員よろしく申し上げます。

## 小西委員

「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムは、「夢」「非認知能力」といった言葉を利用して、非常に素晴らしい内容だと思います。

今年、野球界では大谷選手、ゴルフ界では松山英樹選手が活躍しました。松山選手は学生の頃「将来の夢はマスターズ優勝です」と言ったそうです。当時は、日本人がマスターズに出場して勝つなんて、夢のまた夢といったことであつたのに、彼は見事に成し遂げました。私はゴルフをするので、テレビを見ながらとても感動しました。

夢を持つことはとても大切です。周りから無理だと言われるような夢を、現実に成し遂げる日本人が世界で活躍しています。それには、夢への思い、限りない可能性を追求していく力が必要だと思います。この資料の中では、「夢を持つ」子どもが小学生から中学生になると割合が下がっています。あきらめてしまうこともあるかと思いますが、夢を追い続ける気持ちをぜひ持ち続けてもらいたいと思います。

また「非認知能力」のところ 幼児期の終わりまでに育て欲しい姿「10項目」は、大人になって社会でも大事な項目だと思います。力を入れて行っていただきたいと思います。

もう一つ大切だと感じたのは、「心の健康観察事業」です。実は、私の会社の中でいじめが2件ありました。仕事をする中で自分の心の闇の感情を持っていくところがなく、外にあたるといったことが発覚し、大きな問題になりました。大人でもそういったことがありますので、子どもの小さな心の変化は、早期に見つけていただきたいと思います。

#### 教育次長（管理担当）

それでは、頭島委員よろしくお願ひします。

#### 頭島委員

先日パラスポーツフェスに行かせていただきました。ボッチャやフライングディスクなどの競技に多くの方が参加して、皆さん笑顔で楽しまれていました。パラ卓球の北川選手のデモンストレーションは、凄い速さのラリーでとても迫力がありました。

今後もパラスポーツフェスを続けていただき、障がいに関係なくみんなですぽーつ通して交流できることを期待します。

また、小中学校の適正配置計画については、自分の住む地域に関係することですので、とても注目しています。

若狭野小学校は青葉台小学校と統合、矢野小学校は小規模特認校となると大きな決定をし、今後様々な準備が必要になって来るだろうと思います。相生小学校と矢野川中学校では、在り方の決定について協議が進むと思います。どのような方向性になっても地域に住む大人と保護者が子どもたちのためを思って、よい教育環境を目指して検討した結果ですので、それをもって更に子どもたちが個性を發揮できるように、たくましく生きていく力を得られるように願ひします。

#### 教育次長（管理担当）

米澤委員お願ひいたします。

#### 米澤委員

「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムをはじめ、ここに挙げられている事業について、素晴らしい施策だなと思ってお聞きしました。社会の変化に伴う重要なポイントを押さえ、次々と変革する教育現場を捉えていると感じました。

頭島委員も言われていましたが、小中学校適正配置計画では学校が統廃合され、「就学前保育・教育施設のあり方」の中でも、幼稚園や保育所がなくなっていく。縮小化されることばかりに目がいきますが、このアクションプログラムを見ていると、そこには今の社会変化に応じた新しいものが始まるという期待感があります。

若狭野に住んでいる者は、学校がなくなることに對する寂しい気持ちでいました。その説明会では統合に反対する声が大きかったのですが、「青葉台小学校に行くことがなぜ駄目なのでしょう」と言われた方がおられて、なるほど次の新しいことに目を向ければ今ないものが生まれるはずだなどと思いました。その質問に對して反対されていた方は、それ以上のことをお答えにならなかったもので、恐らく縮小することにはばかり気を取られていたのだと思います。

これからの何年間で、相生市が大きく変革し、新しい相生の教育に繋がっていくよう期待しています。教育委員会の中での決定で終わるのではなく、現場に伝えて「幼小中12年間の中でこういったように変えていきたい」という前向きなことが浸透すれば、市民にも伝わるのではないかという気持ちになりました。

### 教育次長（管理担当）

続いて市長お願いいたします。

### 市長

私は、常々「まちづくり」の基本は、「人づくり」にあると申し上げております。その根幹となる「人づくり」のため「教育立市」を掲げて教育に重点を置いた市政運営を進めさせていただいております。そういった中で、今後の「相生の教育」について、私の考えを3点申し上げさせていただきます。

1点目は、「教育立市」推進のため、『「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラム』による取組みうれしく思います。

相生に住む全ての子どもたちが、夢や希望を抱きながら豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられるよう、特色ある事業を活かした、魅力ある学校園づくりを着実にお願いいたします。

さらに、相生の子どもたちが誰一人取り残されないよう、子どもたちの問題行動等の未然防止や早期解決について、教育委員会が先頭に立ち、学校、家庭、地域、関係機関が一体となって取組みを進めていただきたいと思います。

また、子どもたちの身近にあるSNSにより、子どもたちが事件や事故の当事者とならないよう、子どもだけではなく大人も含めて、意識を高める学習機会の提供等をお願いいたします。

2点目、生涯学習分野では、子どもたちが学校教育分野において基本的なものを平等に身に付けるのに加え、興味を持った分野の一步先を誰しもが平等に学ぶことができる環境整備をお願いします。私は常々、相生から世界に飛び出していく子どもたちの背中を後押ししたい。とこのように思っております。そのために、11の鍵の一つであり、語学力の向上を目指す「ワンピース・イングリッシュ」そして、情報人材の育成を目指して、新たに取り組まれる「プログラミングチャレンジ」に非常に期待しております。

また、社会体育については、パラスポーツの更なる普及など、障がいのある人とな  
い人が一緒にスポーツに親しみ、パラスポーツの推進と心豊かに地域で一緒に暮らせ  
る共生社会の実現をお願いいたします。

3点目は、小中学校の適正規模適正配置の取組みについてです。今年度、若狭野小  
学校及び矢野小学校において、地域協議会での丁寧な協議が終了し、それぞれ学校の  
在り方が決定したと聞いております。今後も、地域や保護者の方のご意見を丁寧に聞  
きながら進めるとともに、環境が変わる子どもたちの不安を軽減する取組みをお願  
いします。

最後になりますが、教育に重点を置いた市政運営において、これまで相生市におい  
て充実した教育の取組みを行うことができていたのは、教育委員の皆様の「相生の教  
育」への思いとご尽力によるものと大変ありがたく感謝をいたしております。委員の  
皆様の教育行政のみならず市政全般に対するご協力に心よりお礼申し上げます。

今後ともこれまでと変わらぬ格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ  
ます。

#### **教育次長（管理担当）**

委員の皆様と市長の所感をお聞かせいただきました。

それでは、意見交換を行っていただきたいと思えます。

どなたからでも結構です。先ほどの協議事項に関するご意見も含め、よろしくお願  
いいたします。

#### **市長**

小西委員が「夢を持つことはとても大切」と言われたことはそのとおりだと思いま  
す。

#### **小西委員**

今は情報が多すぎて、「どうせ駄目だろう」と言って、夢をあきらめてしまうこと  
が多いと思えます。

そう思いますと、大谷選手の活躍はとても勇気をもらえたと思えます。

#### **市長**

パラスポーツフェスには所用で行けませんでした。パラ卓球の北川選手はとても  
頑張り屋です。小さい時から知っていますが、あれほど頑張る人は、なかなかいま  
せん。次のパラリンピックに出場できるように何とか応援してあげたいと思えます。

#### **教育長**

車も自分で運転し、海外遠征などへも一人で行くそうです。自分の使いやすい道具  
を持って、海外のホテルでも一人で時間を過ごすことに慣れているそうです。

## 市長

頭島委員、米澤委員が言われたように、小中学校適正配置計画はこれからも丁寧に進めていただきたいと思います。

また、ICT、SNS、情報技術の学習もこれからは大切になってきます。

## 小西委員

各企業に一人ずつ「プログラマー」といった技術者が必要になってくると言われています。社員の出勤管理や健康管理のシステムを各社利用しているので、そういった技術者は必須になってきます。

小学生の頃から、プログラミング学習に慣れ親しむことが、大切になってくるだろうと思います。

## 米澤委員

保育園や幼稚園でも、一つ駄目だったら失敗となるところを「じゃあこうしてみよう」「次はこっちの方法でやろう」というように、簡単なプログラミングに繋がるような遊びをしていました。幼児期からでもそういった思考ができるのかと、とても感心しました。

## 教育長

何か一つ組み立ててみて、上手くいかなかったらそこでくじけてしまうのか、再挑戦してやり遂げるのか、そういったことは、非認知能力にも繋がっていくことだと思います。頑張ってやり遂げた成功体験は、自尊感情、自己肯定感に繋がるので、プログラミング学習といたら、機械的なことと感じますが、実はそういった内面も育っていくような可能性のある教育だと思います。

## 市長

令和12年には子ども園への統合予定があります。まだ少し先ですが、子どもも大人も環境が変わるので、新しいものへの期待感があります。

## 教育次長（管理担当）

それでは、意見交換は終了とさせていただきます。今後の相生市の教育に関し、ご意見を頂きありがとうございました。

それでは、本日の2点の協議事項、

1 「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムについて

2 令和7年度の重点施策について

ご了承いただけたということによろしいでしょうか。

## 市長及び教育委員

はい。

## 教育次長（管理担当）

ありがとうございます。

今回いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして関係部局とも協議、検討させていただき、更なる取組みを進めさせていただきたいと考えております。

また、予算措置が必要な事項につきましては、今後の予算に反映できるよう努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、本日の協議事項は全て終了いたしました。

閉会にあたり坂本教育長よりごあいさつをお願いいたします。

## 教育長

谷口市長には本日もお忙しい日程の中、総合教育会議を開催していただき、意見交換をさせていただきましたこと感謝申し上げます。

また、ご多忙の中、教育委員会行事、学校園行事などいろいろとご参加、ご出席いただきありがとうございます。

私は就任後、様々な教育事業、施策を行っているものに出席いたしました。いろいろな市民の方がそこに関わっていただいています。「教育は人なり」それは、決して学校、幼稚園だけではないとつくづく感じております。

今年度の教育委員会における課題としては、いじめ再発防止、事件発生後の対応、第2次小中学校適正配置計画の推進、子ども園化の検討などがありました。現在、丁寧に進めさせていただいているところです。

また今年度、中学校の部活動地域移行では、夏季大会以降バスケットボールが市内男女1チームずつ協会の協力を得ながら合同チームとして指導を開始し、優秀な成績をあげることができています。今後に向けた取組みの検証をこれから行って参りたいと考えています。

また、国内交流事業は夏休みにやっと須崎市で実現できました。また、図書関係では、「第5次子ども読書活動推進計画」を策定するとともに来年度以降の指定管理者制度の決定をしたところです。パラスポーツ大会にも多くの方にお集まりいただき開催することができました。

年末になって、学校給食甲子園で上位入賞は大変めでたいニュースとなりました。今後もよいニュースを発信できるように努めていきたいと考えます。

最後に、本日提案させていただきました各種重要施策、「D・A・I・C・H・A・N」アクションプログラムをこれから実のあるものとなるように進めていきたいと考えております。

「夢を育む教育」「夢ある教育」の土台となるように、「非認知能力の育成」を目指し、魅力ある学校づくりを進めていくよう支援してきたいと思っております。

引き続きご支援のほどお願ひ申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

令和6年度第2回相生市総合教育会議を終了